

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「地域福祉」としての子育て支援事業
事業主体 (連絡先)	認定特定非営利活動法人フリーキッズ・ヴィレッジ 伊那市高遠町山室 3009 電話 0265-94-5028
事業区分	②保健、医療、福祉の充実に関する事業、①地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,455,900円 (うち支援金: 1,055,000円)

#### 事業内容

被虐待児(里子)や要保護児童の最善の利益を実現するために、支援活動を行った。

●虐待を受けた里子を養育する里親が孤立し、養育に行き詰まらないように里親支援講座を年3回開催した。

●夏休みに、里親里子交流キャンプを2泊3日で開催し、里子も里親もリフレッシュできる自然体験を満喫した。

●要保護児童のファミリーサポート事業を立ち上げ、行政の子ども相談室に相談があった家庭が虐待に至らないように家庭での養育を支援するために、協力家庭を募集し、日帰り・宿泊・専門相談を無料で利用できる仕組みを作り、活動をした。

●ホームページ「子育て支援」の新設



【協力家庭研修の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ① 行政と連携し虐待防止
- ② 里親・里子支援
- ③ 活動を広く普及し、協力家庭を増やす

#### 事業効果

①里親支援講座では、里親と児童養護施設との友好的な関係が作れたことが大きい。新人の里親たちには、先輩里親とつながりができ、里子養育のアドバイスをもらえることが安心だと、喜ばれている。

②里親里子交流キャンプでは、里子たちが自然の中で夢中になって遊べたこと、普段から里子養育に疲弊している里親ものんびりと過ごすことができ、両者にとって有意義なキャンプとなった。

③要保護児童のファミリーサポート事業は、協力家庭が16軒登録され、子育てに行き詰まる家庭へのサポートに9軒が稼働した。支援を受ける家庭は継続を希望し、伊那市市政に予算付けされる。

#### ※自己評価【 A 】

- 【理由】・里親支援講座は、学び、つながり合う交流の場として定着した。
- ・里親里子交流キャンプは、全員が来年も参加希望で、来年も開催をする。
  - ・要保護児童のファミリーサポートは、来年度の伊那市市政に予算化された。

#### 今後の取り組み

①里親支援講座は、経費がかからない状況で今後も継続していく。

②里親・里子交流キャンプは、今年度の支援金により、キャンプ用品を揃えることができたため、来年度以降も継続して開催していく。

③要保護児童のファミリーサポート事業は、伊那市からの事業受託をして、継続をし、より広い支援を目指していく。伊那市以外の近郊の市町村にも、本事業の必要性を伝え、行政として予算付けをし、各市町村でも支援活動ができるように啓蒙・普及活動を続ける。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある